

## 1. 活動の概要

7月7日(金)、雲南市立西小学校で『心に残る文化財子ども塾』を実施しました。

はじめに、学校のまわりにある遺跡と縄文時代・弥生時代の暮らしについて、クイズをまじえて楽しく学習しました。次に、学校の近くから見つかった土器やまが玉の未成品を見たり触ったりして、古代人の暮らしを体感しました。

最後に「火起こし」体験を行いました。ペアを組んで古代人に挑戦です。みんな額に汗して粘り強く頑張ったので、約半数が火を起こすことに成功しました。体験をとおして、古代人の苦労と生きるための知恵をあらためて実感することができました。

## 2. 活動の様子



「クイズ！大東町にはいくつ遺跡があるでしょう？」



「土器に触ってみよう」

## ②火起こし体験



「火起こしに挑戦中です」

### 3. 子ども塾を終えて

#### 1) 児童の皆さんから

- ・土器にさわってみて、とても（思ったより）かたいことにおどろきました。
- ・火がつくまでけっこう時間がかかったけど、最後の最後に火がつけられてよかった
- ・縄文時代や弥生時代の人たちが食べていたものを食べてみたい
- ・まが玉ができるまでの工程を知りたいです
- ・昔のひとが住んでいた穴住居などを体験してみたい

#### 2) 担任の先生から

- ・土器の実物を見たり触ったりできた。
- ・前半の座学で、より子どもたちの理解を深めるためにワークシートか資料のようなものがあってもいいと思った。

#### 3) 埋文センターから

実際に地元で出土した土器などを見たり触ったりすることで、古代のひとびとの暮らしをより身近に感じてもらえたのではないのでしょうか。

こうした学習活動をきっかけに、地域の歴史や文化財に興味・関心を持っていただけるとうれしいです。ぜひ今度は、まが玉作りにも挑戦してみてください。